

## 旧庄戸中学校の後利用の検討に関するサウンディング型市場調査 実施結果（概要）

### 1 調査名称

旧庄戸中学校の後利用の検討に関するサウンディング型市場調査

### 2 実施主体

横浜市栄区役所区政推進課

### 3 実施経過

- |                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| (1) 令和元年 11 月 12 日       | 対話実施の公表<br>現場見学会受付開始（11 月 29 日まで） |
| (2) 令和元年 12 月 3 日        | 現場見学会                             |
| (3) 令和元年 12 月 9 日        | 対話申込受付開始（12 月 19 日まで）             |
| (4) 令和 2 年 1 月 14 日～21 日 | 対話の実施                             |

### 4 対話参加状況

6 事業者

### 5 対話の内容

別紙のとおり

### 6 実施結果

- ・現状の建築制限の範囲内における福祉施設としての活用案が複数あった一方、制限にこだわらず幅広い用途について提案されたものも複数ありました。
- ・事業範囲としては、今回の対象範囲である敷地面積約 10,000 m<sup>2</sup>を活用する提案以外にも、その一部である約 4,000 m<sup>2</sup>を活用したいというご意見が複数ありました。また、更地での引き渡しを希望するご意見が複数あったほか、現状の建築制限のままでは難しいものの、既存建物の活用を希望するご意見も複数ありました。
- ・活用にあたっては、15～30 年の賃貸借を希望する事業者が複数あった一方、買い取りは困難であるというご意見が複数ありました。
- ・地域貢献については、就労の場の提供や地域との交流、施設の地域開放の可能性のある旨のご意見が多かった反面、セキュリティ面から施設の常時開放は難しいとのご意見もありました。また、民間事業者が事業の一部として地域防災拠点の機能を持つことは、非常に難しいとのご意見がありました。
- ・地域の「活用案のとりまとめ」については、医療・介護・健康増進に関する事業の構築の可能性のあるというご意見が複数あったほか、子育て支援・若い世代の定住支援やコミュニティ活動の拠点等の創出の可能性のあるというご意見もありました。

### 7 今後の対応

今回の対話の結果を踏まえ、関係部署と連携して公募に向けた取組を進めていきます。